

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	福祉課
会議名 (審議会等名)	嬉野市障がい者生活向上推進委員会	
開催日時	平成 29 年 10 月 16 日 (月) 10:00～11:10	
開催場所	嬉野市役所 (嬉野庁舎) 3-3 会議室	
傍聴の可否	(可) ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0 人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	山下俊一委員、古川信子委員、坂口典子委員 蒲原知愛子委員、唐島房代委員、中野哲也委員 本村淳子委員
	事務局	福祉課長、福祉課副課長、福祉課主任
	その他	
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	嬉野市障がい者福祉計画当事者アンケート結果報告 (抜粋)	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	1 嬉野市障がい者福祉計画当事者アンケート結果報告について 2 障がい者の生活における問題について		
内 容			
審議経過	事務局 事務局 委員 事務局 委員 委員 委員 委員 委員	(当事者アンケート結果報告を見ながら内容説明) P38に関連して、避難行動要支援者名簿について、同意をうけた人の分の名簿は、警察・消防・民生委員・行政嘱託員へ配布した。個別計画をつくる必要があり、調査等の協力をお願いしたい。 同意者の割合はどれくらいなのか。その後の進み方は気になっていた。 同意者は7割程度である。 モデル地区を作って、今後必要なことや今後のながれなどを整理する方法もいいのではないか。なかなか問題も多く何からどうやっていいのかわからない感じである。 私の知的障害者施設では、避難場所がどこであるか、避難場所に行くまでにどこが危ないかなど実際歩いてみている。避難訓練をしても、最初は動けずにいる利用人も、何度かしているうちにスムーズに動けるようになった。 知的障害者は特に、避難所などに行けば、パニックに陥る者もいる。障がい者のなかには、避難所まで行くのにも、車いすの支援や手つなぎの支援など支援の仕方も様々で、酸素ボンベの必要な人や常備薬が必要な人もいる。日頃からのかわりも大切。 P26・P66 公共施設の段差、トイレ、スロープ、点字ブロックなどの点検も大切。 災害が夜間に発生することもあるので、明かりの確保ができていないかの確認も必要。	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	1 嬉野市障がい者福祉計画当事者アンケート結果報告について 2 障がい者の生活における問題について		
内 容			
審議経過	委員	嬉野老人福祉センターは避難所にも指定されているので、トイレの整備や段差は解消するべきである。	
	委員	自分の地区の避難場所がどこであるのか周知する必要がある。	
	事務局	市内の中で危険な場所や、改修をした方がいいという箇所をこの委員会で確認するのはどうでしょうか。	
	委員	バリアフリースペースで、洋式トイレや坂道等を表示した地図があるのをみたことがあるので、確認してはどうでしょうか。	
	事務局	まずそのマップを確認して、市内を見て回る際の参考にするよう検討します。	
	委員	障がい者福祉計画策定の団体ヒアリング資料にも、障がい者の意見が反映されていたようなので、その資料も提供いただければ今後の参考になるのではないかと。	
	事務局	団体ヒアリング資料も抜粋して提供します。	
	委員	嬉野市に老人福祉センターはあっても福祉センターはない。県内にも福祉センターは多くある。障がい者の団体等の会議をしたり、資料作成の際大変苦慮している。 福祉センターができれば、障がい者も日中集える場所になっていいのではないかと考える。	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	1 嬉野市障がい者福祉計画当事者アンケート結果報告について 2 障がい者の生活における問題について		
内 容			
審議経過	事務局	次回は市内の施設点検と団体ヒアリング資料からみえる障がい者の生活における問題についての協議をする予定で進めていきます。 次回の開催は、来年1月下旬から2月中旬を予定しています。	